

表 3-1 夢洲 1 区における夏期調査結果 (その 1)

調査日 2023年09月21日														
設置 年度	ガス抜 き管 No.	埋 設 層	排 出 口 径 (cm)	流 速 (m/s)	温 度 (°C)	酸 素 (%)	窒 素 (%)	メ タ ン (%)	炭 酸 ガ ス 他 (%)	メ タ ン 発 生 量 (kg/日)	硫 化 水 素 (ppm)	メ チ ル メ ル カ プ タ ン (ppm)	硫 化 メ チ ル (ppm)	ア ム モ ニ ア (ppm)
91	a	2	35	0.38	32.4	21.0	79.0	0.013	0.0	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	b	2	30	0.60	32.6	20.3	78.3	0.79	0.6	17.6	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	c	2	35	0.41	32.7	19.7	79.6	0.64	0.1	13.4	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	d	2	30	0.15	33.8	20.4	78.3	0.48	0.7	2.7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	e	2	35	0.30	31.9	20.5	79.4	0.060	0.0	0.9	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	f	2	30	0.23	31.6	21.0	78.9	0.10	0.0	0.9	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	g	2	30	0.13	31.2	21.0	79.0	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
92	*G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	G2	2	35	0.11	31.0	20.9	79.1	0.007	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G3	2	30	0.06	31.5	21.0	79.0	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G4	2	30	0.06	31.2	20.9	79.1	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G5	2	30	0.07	31.0	20.8	79.1	0.067	0.0	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G6	2	30	0.06	30.9	20.9	79.1	0.008	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G7	2	30	0.22	31.7	20.4	78.1	1.2	0.3	9.9	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G8	2	30	0.20	31.8	20.9	79.0	0.11	0.0	0.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G9	2	30	0.42	33.3	17.8	78.6	1.8	1.9	27.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G10	2	30	0.38	31.7	20.7	79.1	0.17	0.0	2.4	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G11	2	30	0.27	32.1	16.0	76.3	5.3	2.4	53.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G12	2	30	0.37	31.5	21.0	79.0	0.003	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
94	94G1	3	30	0.00	31.2	20.9	79.0	0.084	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	94G2	3	30	0.30	31.9	20.6	78.7	0.76	0.0	8.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	94G3	3	30	0.25	33.3	6.6	68.2	21.5	3.7	198.9	0.6	0.1	0.2	<0.2
	94G4	3	35	0.24	32.1	20.7	79.3	0.025	0.0	0.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
95	G3-1	3	30	0.17	31.6	21.0	79.0	0.003	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G3-2	3	30	0.48	31.7	21.0	79.0	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G3-3	3	30	0.81	31.5	20.9	79.1	0.004	0.0	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G3-4	3	30	0.23	32.6	7.3	74.1	13.7	4.9	117.0	0.3	<0.1	<0.1	<0.2
	G3-5	3	30	0.22	32.4	11.5	76.9	6.7	4.9	55.2	1.9	<0.1	<0.1	<0.2
	G2-1	2	30	0.10	31.3	19.6	80.4	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G2-2	2	30	0.14	31.8	21.0	79.0	0.006	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G2-3	2	30	0.32	32.2	19.0	79.2	0.54	1.2	6.4	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G2-4	2	30	0.35	30.8	18.8	76.0	3.4	1.8	44.6	0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	G2-5	2	30	0.30	31.0	20.7	79.3	0.000	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
G2-6	2	30	0.13	31.2	17.8	81.3	0.31	0.7	1.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2	
98	98G1	2	30	0.32	30.9	20.5	78.4	0.86	0.2	10.4	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G2	2	30	0.33	32.7	14.6	83.2	2.3	0.0	27.7	0.2	<0.1	<0.1	<0.2
	98G3	2	30	0.14	31.6	20.7	79.2	0.010	0.0	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G4	2	30	0.29	31.8	18.5	80.2	0.82	0.4	8.9	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G5	2	30	0.14	30.8	14.0	82.4	3.0	0.5	15.9	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G6	2	30	0.44	30.6	20.8	78.6	0.11	0.4	1.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G7	2	30	0.42	33.0	19.5	79.7	0.69	0.1	10.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G8	2	30	0.63	31.6	21.0	78.9	0.001	0.2	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	98G9	2	30	0.14	31.5	20.7	79.3	0.050	0.0	0.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2

表 3-2 夢洲 1 区における夏期調査結果 (その 2)

調査日 2023年09月21日														
設置 年度	ガス抜 き管No.	埋 設 層	排 出 口 径 (cm)	流 速 (m/s)	温 度 (°C)	酸 素 (%)	窒 素 (%)	メ タ ン (%)	炭 酸 ガ ス 他 (%)	メ タ ン 発 生 量 (kg/日)	硫 化 水 素 (ppm)	メ チ ル メ ル カ プ タ ン (ppm)	硫 化 メ チ ル (ppm)	ア ム モ ニ ア (ppm)
00	00G1	2	35	0.43	31.9	19.1	77.9	1.9	1.1	41.9	<0.1	<0.1	<0.1	1.0
	*00G2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	00G3	2	30	0.27	31.3	20.5	77.9	1.5	0.0	15.4	0.1	<0.1	<0.1	<0.2
01	01G1	2	35	0.42	30.9	15.2	80.4	4.4	0.0	94.3	0.8	0.1	0.2	<0.2
	01G2	2	35	0.98	32.7	19.2	80.8	0.008	0.0	0.4	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	*01G3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	01G4	3	30	0.22	32.3	14.3	79.6	4.3	1.8	35.5	0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	01G5	3	30	0.09	31.2	21.0	79.0	0.003	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	01G6	3	30	0.41	35.5	12.5	79.2	5.8	2.6	86.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	01G7	3	30	0.70	30.8	20.2	78.6	1.3	0.0	33.1	0.4	<0.1	<0.1	<0.2
03	*03G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	03G2	2	35	0.36	33.0	14.0	77.9	5.2	2.9	94.3	<0.1	<0.1	0.2	5.5
	03G3	2	30	0.23	34.7	17.8	81.3	1.0	0.0	8.1	0.11	<0.1	<0.1	<0.2
	03G4	2	30	0.07	31.3	21.0	79.0	0.001	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	03G5	2	35	0.53	30.5	20.9	79.1	0.038	0.0	1.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	03G6	2	35	0.88	30.9	21.0	79.0	0.050	0.0	2.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
04	04G1	3	30	0.22	30.6	3.9	75.1	18.7	2.4	154.6	0.3	0.1	0.1	<0.2
	04G2	3	30	0.18	32.0	13.7	72.5	12.7	1.1	85.4	2.3	<0.1	<0.1	<0.2
	04G3	3	30	0.16	31.4	17.4	80.9	0.77	1.0	4.6	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
05	05G1	3	30	0.24	31.7	10.7	83.9	5.4	0.0	48.8	0.2	<0.1	<0.1	<0.2
	05G2	3	30	0.28	30.6	17.0	81.9	0.36	0.8	3.7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	05G3	3	30	0.15	31.0	19.0	80.6	0.31	0.0	1.7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
07	07G1	3	30	0.29	31.4	6.4	76.2	15.7	1.7	170.9	1.1	<0.1	<0.1	<0.2
	07G2	2	35	0.83	31.4	17.4	78.0	2.1	2.5	90.3	<0.1	<0.1	<0.1	0.5
08	08G1	3	30	0.37	31.0	21.0	79.0	0.016	0.0	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	08G2	2	35	0.18	30.5	21.0	79.0	0.014	0.0	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	08G3	2	35	0.19	30.5	18.6	80.4	1.0	0.0	9.8	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
09	09G1	2	35	0.99	32.1	18.4	75.5	2.2	3.9	108.5	<0.1	<0.1	0.2	2.0
10	10G1	3	30	0.12	30.6	20.4	79.6	0.002	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	10G2	3	30	0.16	30.4	21.0	79.0	0.003	0.0	0.0	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
15	15G1	2	35	0.30	30.9	11.5	79.4	7.5	1.6	114.9	0.2	0.1	0.2	1.0
	15G2	2	35	0.55	31.2	17.6	80.1	2.3	0.0	64.3	0.4	0.1	<0.1	<0.2
	15G3	2	30	0.31	32.8	14.8	80.4	3.1	1.6	36.2	<0.1	<0.1	0.1	8.0
18	18G1	2	30	0.83	43.7	10.4	83.2	1.0	5.5	27.9	<0.1	<0.1	0.3	2.5
	18G2	2	35	0.61	36.8	17.2	81.2	0.54	1.1	16.3	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
22	22G1	3	30	0.39	31.8	9.2	85.7	2.5	2.6	36.7	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	22G2	3	30	0.18	31.2	17.6	81.9	0.38	0.2	2.6	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	22G3	3	30	0.49	40.1	18.4	77.7	3.9	0.0	67.6	<0.1	<0.1	<0.1	<0.2
	22G4	3	30	0.24	36	10.8	85.0	2.7	1.5	24.0	<0.1	<0.1	0.2	<0.2
										1,989				

* 欠測

日平均気温28.7°C、最低気温25.4°C、最高気温32.8°C、日平均風速3.7m/s、海面平均気圧1009.3hPa、天気：曇後一時雨

流速が測定下限(0.05m/s)未満の場合、0.03m/sと仮定して算出した。

口径は2014年度に測定した値

万博会場 ガス急増

昨夏1日2トン

2025年大阪・関西万博の会場建設現場で3月に起きた爆発火災事故の原因となったメタンガスが、事故があった夢洲1区（会場西部）での調査で近年増加し、昨年夏期に1日に約2トンも発生していたことが分かりました。

危険性浮き彫り

本紙が入手した大阪広域環境施設組合の調査で判明。同区に設けられた約80本のガス抜き管で年2回、夏と冬に調査したところ、冬期調査では2021年に1日に1293キログラムだったメタンガス発生量が24年には1546キログラムに夏期調査では21年に1日に5

協会、防止策示さず

建設中の万博会場。写真上部（木製リングより奥）が爆発事故が起きた夢洲1区。大阪市



■夢洲1区のメタンガス発生量(㎏/日)

	冬期	夏期
2021年	1293	580
2022年	1200	810
2023年	1400	1989
2024年	1546	

※大阪広域環境施設組合の調査から

80キログラムだった発生量が23年には1989キログラムに急増しています。

夢洲1区は焼却残滓や上下水汚泥などで埋め立てた現役の廃棄物最終処分場で埋め立て物の分解に伴って可燃性のメタンガスが発生し続けます。

日本国際博覧会協会は万博で使う区域でガス抜き管の排出口の付け替えを行っていますがガスが出るのは管からとは限りません。実際に今回の爆発は土壌から発生し地下空間にたまっていたガスが火花に引火し起きました。

今回の爆発事故を踏まえた開催中の再発防止策は何も示されていません。夢洲2区、3区の会場区域については地下鉄工事でメタンガスが見つかったにもかかわらず、協会は「地表付近でのガス発生の可能性は極めて低い」とリスクから目をそらしています。万博強行の危険性が浮き彫りになっています。

6 受文科初第 3 号
令和 6 年 4 月 8 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
附属学校を置く各国公立大学法人学長 殿
小中等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 1 2 条第
1 項の認定を受けた各地方公共団体の長

文部科学省初等中等教育局長
矢野 和彦

修学旅行等における 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の活用について

令和 7 年 4 月 13 日から 10 月 13 日にかけて、大阪・夢洲において 2025 年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という。）が開催されることとなっており、「修学旅行等における 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の活用について」（令和 5 年 3 月 14 日付け 4 受文科初第 456 号初等中等教育局長通知）及び「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の入場料金の決定と修学旅行等における活用について」（令和 5 年 8 月 15 日付け 5 受初児生第 10 号初等中等教育局児童生徒課長、初等中等教育局教育課程課長通知）において、大阪・関西万博に関する情報等をお知らせしたところです。

今般、内閣官房国際博覧会推進本部事務局及び経済産業省商務・サービスグループ博覧会推進室から、別紙のとおり依頼がありました。

については、各都道府県・指定都市教育委員会にあっては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、各都道府県知事にあっては所轄の学校法人に対して、国公立大学法人の長にあっては設置する附属学校に対して、株式会社立学校を認定した地方公共団体の長にあっては認可した学校に対して周知いただくよう、よろしくお願い申し上げます。

その際、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、必要に応じて御判断いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、修学旅行等における大阪・関西万博の活用について御質問等がある場合は、別紙記載の内閣官房国際博覧会推進本部事務局または経済産業省商務・サービスグループ博覧会推進室へお問合せいただくようお願いいたします。

- （別添 1）大阪・関西万博の準備状況について
- （別添 2）修学旅行等の受入れについて
- （別添 3）ジュニア EXP02025 教育プログラムのご案内

< 本件担当 >

（本通知全体及び修学旅行について）

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

T E L 03-5253-4111（内線 2389）

（修学旅行以外の校外学習について）

文部科学省初等中等教育局教育課程課

T E L 03-5253-4111（内線 2565）

小学校、中学校、高等学校等の遠足・修学旅行について

文初中第四五〇号

昭和四三年一〇月二日

各都道府県教育委員会あて

文部省初等中等教育局長通達

小学校、中学校、高等学校等の遠足・修学旅行について

標記のことについてはくり返し通達してきたところであり、最近においては、特に、その事故防止について昭和四三年六月一〇日付け文初中第三三八号をもつて通知したところであります。

貴委員会におかれても、すでにこれらの趣旨の徹底についてじゆうぶん御配慮のことと思いますが、このたび、遠足・修学旅行の計画と実施に関し、特に留意すべき事項を下記のとおりまとめました。

については、貴委員会におかれては、この趣旨を御了知のうえ、各学校における遠足・修学旅行が適切に運営され、特に事故の絶無が期せられるよう管下の市町村教育委員会および学校に対し、いつそうの御指導をお願いします。

また、盲学校、聾学校および養護学校ならびに小学校、中学校の特殊学級における遠足・修学旅行については、児童生徒の心身の障害の種類や程度に応じ、特別な配慮がなされるよう御指導かたあわせてをお願いします。

なお、貴委員会において作成している遠足・修学旅行の基準等についても再検討され、必要に応じその改善を図られるよう御配慮願います。

記

[Roman1] 遠足・修学旅行の計画と実施

1 遠足・修学旅行は学校の教育課程上「学校行事等」に位置づけられる教育活動であるので、小学校、中学校および高等学校の学習指導要領、学校行事等指導書等に示すところにより、そのねらいを明確にし、その内容をじゆうぶんに吟味して、教育的効果を高めるようにすること。

2 学校における教育活動は、一般にその教育の場が学校内に限定されているが、遠足・修学旅行は学校外に教育の場を求めて行なわれる活動であるので、学校内では得がたい学習を行なう機会として有効に活用するようその計画と実施にあたって学校の創意と教育的識見をじゆうぶんに生かし、いわゆる物見遊山や観光旅行に終わらせることのないようにすること。

3 学校において、遠足・修学旅行を計画、実施するにあたっては、特に次の事項に留意すること。

(1) 原則としてすべての児童生徒が参加できるように計画すること。なお、参加できない児童生徒がある場合には、その指導についても遺憾のないよう配慮すること。

(2) 参加人員の多い場合は、できるだけ大集団の行動を避け、適当な人数の集団に分けるなどの方法を取り、指導の効果を高めるとともに、事故の絶無を期すること。

(3) 目的地や見学先を精選し、ゆとりのある計画をたて、児童生徒の疲労の軽減を図るとともに、教育的効果を高めるようにすること。

なお、小学校にあつては、宿泊を伴う計画のある場合にも車船中泊を避け、中学校、高等学校にあつても、往復とも車船中泊をすることはできるだけ避けること。

(4) 引率教職員の数は、必要にしてじゆうぶんなものとするとともに、引率責任者を明確にするなど、その指導組織や事務分担を明らかにし、常に児童生徒を掌握し、秩序ある行動と安全が保てるよう